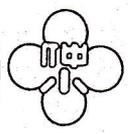


仲町だより



なか よく
ま なぼう
ち からいっばい
練馬区立仲町小学校

新春を迎え

校長 澤井 英子

穏やかに平成27年を迎えました。本年も教職員一同どうぞよろしく願いいたします。今年、自宅で初日の出を待ち受けました。雲海が白み初め、徐々に初日が覗いた時の何ともいえぬ神々しさは、思わず手を合わせ、安全で安心な学校運営ができますよう祈りました。

【学納金の集金について】

いつも学納金については、ご配慮いただき有り難うございます。今年度、年間の費用を1月までの9回で均等分割し振替させて頂きました。すると支払いに支障が出る事態となりました。そこで、来年度からは、11月までの7回で振り替えさせて頂きたいと存じます。ご理解とご協力をお願いいたします。

【発達課題】

学校では子供の健やかな成長を願って日々努力をしています。子供の成長について、興味深い資料がありましたので、ご紹介します。(東京都教育相談センター広報「すこやかさん」第36号)
子供の発達には、「乳児期」「幼児期」「学童期」「青年期前期」と各段階を経て成長していきますが、まっすぐに一直線に成長するわけではなく、時には「足踏み」や「後戻り」しながら、周囲に助けられて成長していきます。しかし、**発達課題**をクリアしないと、身体的には成長していても、心理的にはつまづいた発達段階にとどまってしまうことが考えられます。

- 乳児期：自分の欲求がいつもすぐに満たされるとは限らないことに不満を感じつつも、それを上回る「自分が愛されている実感を得ることで**「基本的信頼感」**が形成され次の幼児期に進めます。
- 幼児期：「うまくできるかな？」と自己への疑惑を持ちながらも、自発的積極的に活動してみても「うまくいった」という体験をすることで自信が付き**「自律性」「積極性」**が形成され次の学童期に進めます。
- 学童期：学校での失敗や友人との競争の中で様々な傷付きを経験しますが、失敗を乗り越えたり、努力を大人に認められたりして傷つき体験を上回る自己効力感を得ることで**「勤勉性」**が形成され、次の段階に進めます。

以下略

子供の世界の広がり (子供は信頼関係が築かれた「母などの養育者」を支えに、世界を広げていきます。)

学童期：自己効力感の獲得

やればできることを知り頑張ることを覚える時期

「勤勉性」 - 「劣等感」

子供側 大人側

- ・頑張りへの無理解
- ・励ます
- ・による劣等感の発生
- ・認める
- ・得意分野を伸ばす
- ・ねぎらう
- ・ことによる劣等感の抑制
- ・頑張ったプロセスを大事にする
- ・社会的役割の体得
- ・対人関係スキルの獲得
- ・つまづきからの立ち直りを支える
- ・身体を使った遊びによる感情発散

幼児期：基本的生活習慣の確立

自律性を身に付け自分で考えて行動することを覚える時期

「自律性」 - 「恥・疑惑」
「積極性」 - 「罪悪感」

子供側 大人側
・セルフコントロールを
・トイレトレーニング

乳児期：愛着関係の形成

親密な人間関係を築く土台をつくる時期

「基本的信頼感」 - 「基本的不信感」

- | | |
|-------------------------------|----------------|
| 子供側 | 大人側 |
| ・泣く、ほほえむ | ・スキンシップ |
| ・声を上げるなど、言動や表情を発信し、養育者と相互交流する | ・目を見ながら抱く |
| | ・ほほえみながらあやす |
| | ・適切なタイミングで応答する |

- ・獲得する
- ・大人の模倣をして、何でもやりたがり、主体的に行動する
- ・ごっこ遊びや集団遊びで社会性を身に付ける
- ・しつける
- ・褒める
- ・動機を大事にする

母

など主な養育者
・心の安全基地としての家庭
・確実な避難所
・心のよりどころ

家庭等
公園・幼稚園・保育園等
担任、友達、きょうだい

学校・塾・習い事等
担任、友達、きょうだい